

2013 年度の宮城県の温室効果ガス排出量について

「宮城県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（平成 26 年 1 月策定）では、2010（平成 22）年度を基準年として、県内の温室効果ガス*排出量を算定し、進行管理を行っている。

今回、国をはじめとした各種統計資料の公表値に基づき、2013（平成 25）年度の温室効果ガス排出量の算定を行ったもの。

*温室効果ガスとは、二酸化炭素その他温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄）をいう。

1 温室効果ガス総排出量等の状況

2013（平成 25）年度の温室効果ガス総排出量は 2,218 万 8 千トン-CO₂、総排出量のうち約 9 割を占める二酸化炭素の排出量は 2,056 万 7 千トン-CO₂である。

なお、前年度及び基準年との比較は以下のとおり。

表 1 県内の温室効果ガス排出量

区分 温室効果ガス種類	排 出 量 （単位：千 t-CO ₂ ）				2013 年度の各種比率 （参考値比）	
	2010 年度 （基準年）	2012 年度	2013 年度		前年度 ((c-b) / c)	基準年 ((c-a) / c)
	公表値 （参考値 a）	公表値 （参考値 b）	排出量(c)	二酸化 炭 素 構成比		
総 排 出 量	20,367 (19,969)	22,423 (21,744)	22,188		2.0%	11.1%
うち 二 酸 化 炭 素	19,107 (18,546)	21,115 (20,199)	20,567	100%	1.8%	10.9%
エネルギー転換部門	74	78	68	0.3%	▲12.8%	▲8.1%
産 業 部 門	6,083 (5,650)	7,250 (6,707)	6,870	33.4%	2.4%	21.6%
民生家庭部門	3,510	4,056	4,010	19.5%	▲1.1%	14.2%
民生業務部門	3,768 (3,640)	3,723 (3,349)	3,441	16.7%	2.7%	▲5.5%
運 輸 部 門	5,117	5,450	5,620	27.3%	3.1%	9.8%
廃 棄 物 部 門	555	558	558	2.7%	0%	0.5%
うちその他 5 ガス	1,260 (1,423)	1,308 (1,545)	1,622		5.0%	14.0%

※四捨五入の関係で、合計値が合わない箇所がある。

※参考値：2013 年度に国の統計資料の一部について推計方法の変更などがあり、過去の公表値との整合性を図るため、「産業部門」、「民生業務部門」及び「その他 5 ガス」の値を遡って修正した値。

【参考】前年度及び基準年との比較

<2013 年度の温室効果ガス総排出量>
2,218 万 8 千トン-CO₂

前年度との比較

公表値比：▲ 1.0%（▲23 万 5 千トン-CO₂）
参考値比：+ 2.0%（+44 万 4 千トン-CO₂）

基準年との比較

公表値比：+ 8.9%（+182 万 1 千トン-CO₂）
参考値比：+11.1%（+221 万 9 千トン-CO₂）

<2013 年度の二酸化炭素排出量>
2,056 万 7 千トン-CO₂

前年度との比較

公表値比：▲ 2.6%（▲54 万 8 千トン-CO₂）
参考値比：+ 1.8%（+36 万 8 千トン-CO₂）

基準年との比較

公表値比：+ 7.6%（+146 万トン-CO₂）
参考値比：+10.9%（+202 万 1 千トン-CO₂）

2 森林吸収量

2013年度(平成25)年度の森林吸収量は、77万トン-CO₂である。

※林野庁資料「京都議定書に基づく森林吸収量(宮城県)」に基づいて算定

3 排出削減目標との比較

2013(平成25)年度の温室効果ガス総排出量(2,218万8千トン-CO₂)から森林吸収量(77万トン-CO₂)を差し引いた排出量は2,141万8千トン-CO₂である。

目標年(2020年)における、排出目標量の試算値^{*}(1,920万9千トン-CO₂)と比較すると、220万9千トン-CO₂多い状況となった。

※試算値：基準年の排出量を参考値に置き換え、簡易的に試算した2020年の排出目標量

[参考] 前年度及び基準年の排出量並びに目標年(2020年)の排出目標量との比較

<2013年度の温室効果ガス総排出量から森林吸収量を差し引いた排出量>

2,141万8千トン-CO₂

前年度との比較

公表値比：+ 1.8% (+ 37万トン-CO₂)

参考値比：+ 5.1% (+104万9千トン-CO₂)

目標年との比較

公表値比：+ 8.9%(+175万2千トン-CO₂)

試算値比：+11.5%(+220万9千トン-CO₂)

基準年との比較

公表値比：+ 5.2% (+105万1千トン-CO₂)

参考値比：+ 7.3% (+144万9千トン-CO₂)